



キクスイ HN工法

国内では2004年まで多くのスレートに、アスベスト（石綿）を使用して生産していました。現在ではアスベストの人体への有害性により、建築材料にアスベストを使用することは禁止されております。

「キクスイ HN工法」は、非飛散性アスベスト含有建材のスレート改修に最適な工法です。アスベストを飛散させずに、劣化したスレート屋根の表面を強化し、耐衝撃性を向上させることが可能で、スレート屋根の若返りに役立つ工法です。

特長

01 施工の安全性

吸引ブラスト処理をすることによって、高圧水洗を行わず、下地調整時にアスベストを飛散させずに施工できます。

02 アスベストの封じ込め

アスベスト含有スレートのアスベストを安全に封じ込めることができます。

03 消音・防水効果

消音、防水に優れた効果を発揮します。

04 幅広い適合性

高日射反射率塗料の「HNトップ遮熱」と組み合わせることにより、遮熱性能も付加することが可能です。

用途

アスベスト含有スレート屋根・壁の改修

適用下地

アスベスト含有スレート

●標準施工仕様

●外壁仕様

工程	材料調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所要量
調査	① 設計図書、現地調査、分析調査等を行い、石綿の含有を確認する。 ② 劣化・汚染の程度を確認し記録する。				
準備	① 作業計画書を作成する。 ② 保護具の用意、養生、掲示及びセキュリティールームの設置を行う。 ③ アスベスト作業主任者の選任を行う。				
素地調整	① 大まかに、ゴミ、砂塵、油脂分、コケ、植生などの付着物を取り除く。 ② 粉じん飛散のないように、破損部分を補修、又は交換する。				
吸引除去	① 専用吸引装置で素地が露出するまで吸引除去し乾燥した清浄な面とする。				
隔離解除	① 吸引作業終了後、セキュリティールーム内を清掃し、換気し清浄にする。 ② セキュリティールームを解除する。				
下塗り (含浸固化)	キクスイ HNプライマー 主 材：15 kg 無希釈	エアレススプレー 等	1	3 以上 (23℃)	50 ~ 60 m ² /15 kg 0.25 ~ 0.3 kg/m ² ※参考値
中塗り (補強塗り)	キクスイ HNポリマー 主 材：20 kg 混和液：15 kg 清 水：1.5~2L	大容量エアレス 等	2	工程内3 以上 工程間16以上 (23℃)	17.5 ~ 35.0 m ² /35 kgセット 1.0 ~ 2.0 kg/m ²
上塗り	キクスイ HNトップ 主 材：16 kg 清 水：0.8~1.6L	エアレススプレー 刷毛 ウールローラー 等	2	工程内3 以上 (23℃)	45 ~ 64 m ² /16 kg 0.25 ~ 0.36 kg/m ²
廃材処理	① 波形石綿スレートの吸引粉じん及び粉じんが付着したフィルター等は厚手のポリ袋に詰め、適法(注⑥)で埋め立て処分する。 ② 廃材の引渡し時に、マニフェストを発行する。				

(注) ① 上記の各数値は無塗装のもので、施工方法、劣化状態により各々幅を生じることがあります。

② 塗装したのものでは、下塗り、中塗り共、上記の各数値より1~2割ほど少なめになります。

③ HNポリマーが完全に乾燥していない状態で上塗材を施工すると割れる可能性があります。冬季は中塗りと上塗りの工程間を2日以上あけて下さい。また、夜露に当たらないよう天候に注意して施工して下さい。

④ 所要量は平面での施工実面積を想定したものであり、波形スレート板の場合では波形係数を掛けて施工実面積を算出して下さい。

⑤ フィルター交換・ポリ袋詰めは、セキュリティールーム内で行うようにして下さい。

⑥ 吸引で下地処理をした吸引ゴミは、現行法ではレベル3 廃材の扱いで、区分としては、がれき類との判断になります。従って処理は安定型で埋め立て処分します。但し、ポリ袋に2重に詰めて安全サイドで取り扱うようにします。尚、条例で取り決めがある場合は、それに従います。



キクスイHN工法

荷 姿

キクスイHNプライマー		NET	15 kg/缶入
キクスイHNポリマー	主 材	NET	20 kg/袋入
	混和液	NET	15 kg/缶入
キクスイHNTopp		NET	16 kg/缶入

施工上の注意点

- 「調査」「準備」「素地調整」「吸引除去」「セキュリティールーム解除」「廃材処理」の注意事項に関しては、別紙「標準施工仕様書」に準拠して下さい。詳しくは最寄の事業所へお問い合わせ下さい。
- 材料の混ぜ合わせ
 - キクスイHNプライマー(下塗り)は希釈せず使用前に攪拌して、均一にして下さい。
 - キクスイHNポリマー(中塗り)は練り容器を用い、混和液15kg中に主材20kgを徐々に加え均一に混練し、必要に応じて清水1.5~2%で粘度調整を行う。ままこが生じる場合は2mm程度のメッシュで濾してから使用するようして下さい。
 - キクスイHNTopp(上塗り)は指定量の清水で薄めて、攪拌して、均一にして下さい。
- 下塗り(含浸固化)
 - 下塗り(含浸固化)は1回塗りを標準とし、十分な量で浸透させる様に行い、塗り残しのないよう、均一に塗り付けるようにして下さい。
 - 施工はエアレススプレーで行い、波形スレート板の場合は山部の面に対して垂直に保ち流れ方向に対して垂直方向に沿って塗り付けるようにして下さい。
 - 作業者の安全確保のため、作業環境温度に対応した防じんマスクを着用して下さい。
 - 適切な乾燥養生を行って下さい。
 - キクスイHNプライマーは、波形スレート板の表面を流れるくらいに十分に塗布して下さい。
- 中塗り(補強塗り)
 - 一度に厚みを付けず2回吹きで所定の塗り厚に仕上げるようにして下さい。
 - 工法はエアレス吹付けとし、塗装機ガンのノズルを山部の面に対してほぼ直角に保ち流れ方向に沿って塗り付け、模様むら・吹きむら・吹き残しのないように注意して行って下さい。
*流れ方向と直角方向に塗り付けると吹きむらが出やすくなるので注意して下さい。
 - 一度に塗り付け量が多過ぎると乾燥後にひび割れを生じるので注意して下さい。
 - 可使時間は4.5分(20℃)であるため、使い切る量で調整して下さい。
 - 塗厚は、標準で0.5~1.0mm以内として下さい。
 - 塗り重ね位置は、重ね合わせ部の厚塗りによる堰止めを防ぐため、流れ方向の板重ね合わせの30cm上方として下さい。
 - 適切な硬化養生を行う。特に冬季は硬化・乾燥が遅いため十分に養生間隔を開けて下さい。
- 上塗り
 - 上塗りは、2回塗りを標準とし、吹きむら・塗り残し、だれのないよう均一に塗り付けて下さい。
 - キクスイHNポリマーが完全に硬化したことを確認後、上塗りの塗装を行って下さい。
 - 工法はエアレス吹付けとし、塗装機ガンのノズルを山部の面に対してほぼ直角に保ち流れ方向に沿って塗り付け、模様むら・吹きむら・吹き残しのないように注意して行って下さい。
 - 適切な乾燥養生を行って下さい。
- 縁切り
 - 塗膜乾燥後、重ね合わせ部の塗膜によるせき止め効果で、降雨による漏水を防ぐため、波形石綿スレートの縦の重なり部分が塗膜で塞がれている場合は、カッターで切り込みを入れて下さい。
- キャッピング
 - フックボルトが緩んでいる場合は、締め付けを行って下さい。
 - フックボルトが曲がっている場合は、延ばして真直ぐにして下さい。
 - フックボルトに専用シーリング材でキャッピングを行って下さい。
*キャッピングは、工程中、中塗り塗装後でも、上塗り塗装後でも可能である。キャップの色を隠したい場合は、中塗り塗装後として下さい。
- 下地補修(欠損・ひび割れ)
 - 割れがある場合は、キクスイHNプライマーを塗装後、防水テープで補修するか、又はノンブリードタイプのシーリング材で補修して下さい。
 - 割れ部分の強度補強を兼ねての補修は、クイックメンダーで補強してから行って下さい。
 - 小欠損部などは、あて板をしてシーリング材で接着し、周辺部をシーリング盛りして下さい。
- 強風及び降雨、降雪の場合またはそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上の場合には塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずる危険性があるため施工を避けて下さい。
- キクスイHNポリマー<主材>は、湿気や水掛かりに注意して保管して下さい。
- 建物周囲に足場を仮設して、転落防止を講じて下さい。また、飛散防止ネットを辺より1.2m以上の高さで張り巡らして下さい。内部の落下対策ネットを張ることで、万一の場合の内部への被害を防いで下さい。
- 屋根作業では、踏み抜き落下事故防止のため、30cm幅以上の道板の上で作業して下さい。
- 屋根作業では、落下事故防止のため、セキュリティーブロックと安全帯とヘルメット(落下対策仕様)を使用して下さい。
- 安全衛生体制を設置し、安全管理と衛生管理を実施して下さい。
- 夏場の作業では、熱中症を避けるため、適宜休憩を入れて下さい。
- KY活動を実施し、記録をとって下さい
- 施工器具等の洗浄水を、河川に流出させたり、土壌にしみ込ませたりさせないで下さい。



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、**kikusuiダウンロードサイト** (『キクスイダウンロードサイト』を検索) でご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本社 ☎ 052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台 ☎ 022-706-5710 大阪 ☎ 06-7668-5320
東京 ☎ 03-3981-2500 福岡 ☎ 092-433-6262
名古屋 ☎ 0568-69-5200